

1月20日(金) 15:30~17:00 古江台中学校

古江台中学校ブロック冬季合同研修会 開催

3校2園の教職員 66名 参加

講演会 「不審者対応について ~附属池田小事件に学ぶ~」

講師 大阪教育大学附属池田小学校 校長 佐々木 靖 様

2001年6月8日に大阪教育大学附属池田小学校で起きた痛ましい事件の体験を通して、不審者対応についてのご講演をしていただきました。

前半部分では、事件の概要・経過を当時の様子が思い浮かべられるほど詳細にお話してくださいました。現場にいた先生だからこそ見えた景色、感情、現実を教えてください、深く考えさせられました。

講師先生からの話の中で、「不審者は人を傷つけることに躊躇はない、対応する教師は人を傷つけることに躊躇いがある。この関係があって教師が不審者を取り押さえられますか？逃げてください。」この言葉を聞いて、不審者対応の難しさを強く感じました。



後半部分では、池田小学校で年間5回行われている不審者対応訓練の様子を撮ったビデオを見せていただきました。教職員全員が参加し、実際に不審者が侵入してきたことを想定して行い、訓練後の反省会では、真剣な意見交換・交流がなされていました。目の前の状況だけを見るのではなく、学校全体がどうなっているのかを把握しようとする姿勢が必要と言うことも教えていただきました。

この他にも、大阪教育大学と連携して、登下校メール配信システムを実施されており、児童の登下校の実態が保護者にメール配信されるそうです。

各校・園それぞれで不審者対応訓練はされてきたとは思いますが、今回の研修で多くのことを学ばせていただきました。その学びを活かして、もう一度不審者対応訓練のあり方を各校・園で考えて、取り組んでいただければと思います。



1月27日(金) 14:30~17:00 古江台小学校

古江台中学校ブロック 道徳研究授業・研究会

3校2園の教職員 61名 参加

授業者 袖田 真伸 教諭 道徳「ブランコ乗りとピエロ」

講師 立命館大学 非常勤講師 牧崎 幸夫 様

6年1組で道徳の研究授業が行われ、たくさんの先生方が参観されました。6年生は思春期に差し掛かり、いろいろな心の課題にぶつかる年頃でもあります。今回は、道徳の内容項目2-(4)寛容・謙虚について学習しました。授業者の袖田先生は、子どもたちに「素直な気持ちで向き合うこと」「相手の立場に立って考えること」「ちがう意見を受け止めること」の3つの考え方を身につけさせたいという思いから、「ブランコ乗りとピエロ」という教材を使って授業を行いました。始めはサムの手勝手な行動に腹を立てていたピエロも、サムの一生懸命な様子を見て、考え方を変わります。そこにはピエロの素直さや、相手の立場になって考えてみる姿勢、自分の考えを主張するばかりではいけないという思いがあります。今回の授業では、場面ごとに物語を読み、ピエロの心の変化を読むことで、「意見が対立したときにはどのように考えることが大切か」について子どもたちに考えさせました。授業の初めと終わりには、子どもたち自身の過去の体験を振り返らせることで、より主題にせまって考えさせる工夫が見られました。



その後の研究会では、参加された先生方が6つのグループに分かれ、授業についての討議を行いました。短い時間でしたが、どのグループも良かった点や改善点、講師の先生に質問したいことなどについて話し合うことができました。

講師の先生からは、主に道徳の授業の在り方についてお話ししていただきました。道徳は「心を育てる」ものであり、そこから表れる言葉や行動は、生徒指導や特別活動において育てるものだという事でした。2018年度小学校からの道

徳教科化にあたっては、授業で「自分と照らし合わせて考える」「いろんな角度からの意見を考える」「他者の考えを聞き、自分を見つめ直す」といった活動が良いということを教えていただきました。他にも45分間の授業の使い方など、盛りだくさんの内容を話していただき、講義の時間はあっという間に感じられました。今回学んだことをブロックで共有し、道徳の授業で実践していくことが大切だと感じました。

